

大井町環境行動計画（町の行動）
実績報告書

（平成30年度）

令和2年1月

目 次

基本目標Ⅰ（生活環境）健やかな心と身体を育む、安心して暮らせるまちをめざそう

個別目標Ⅰ－１ 良好な生活環境の保全（都市環境・住環境・美化）・・・・・・・・・・ 1

個別目標Ⅰ－２ 環境汚染の防止（大気・水質・土壌・有害物質等）・・・・・・・・・・ 3

基本目標Ⅱ（自然環境）豊かな自然と共に生き、次の世代に引き継ごう

個別目標Ⅱ－１ 自然環境の保全と再生（水辺・森林・農業）・・・・・・・・・・ 5

個別目標Ⅱ－２ 生態系の保全と再生（動植物）・・・・・・・・・・ 7

基本目標Ⅲ（循環型社会）資源の循環を図り、環境負荷の少ないまちをめざそう

個別目標Ⅲ－１ ごみの減量化と再資源化の推進（廃棄物・資源）・・・・・・・・・・ 10

基本目標Ⅳ（低炭素化社会）地球環境の保全をめざし、積極的な取組をすすめよう

個別目標Ⅳ－１ 地球温暖化対策の推進（地球環境）・・・・・・・・・・ 13

基本目標Ⅴ（環境教育）環境パートナーシップの形成をめざそう

個別目標Ⅴ－１ 環境教育の推進（学校教育・情報提供）・・・・・・・・・・ 16

個別目標Ⅴ－２ 協働による環境保全の推進（協働）・・・・・・・・・・ 16

基本目標Ⅰ（生活環境）健やかな心と身体を育む、安心して暮らせるまちをめざそう

個別目標Ⅰ－１ 良好な生活環境の保全（都市環境・住環境・美化）

環境施策

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 景観の保全と良好な都市景観形成の推進 | 4 上水道の安全で安定した供給 |
| 2 快適な道路の整備 | 5 歴史的文化遺産の保全 |
| 3 公園整備・緑化事業の推進 | |

重点施策Ⅰ 公害対策推進プロジェクト

町民が安全で安心して暮らせるよう、健康の保護や安全の確保のために、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭等の環境汚染の発生防止を図るとともに発生時における早期対応の徹底を図ります。

また、事業者に対しては、「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」や関係法令等に基づき、県と連携し環境汚染の発生防止に努めるとともに積極的な指導等を行います。

関連 施策

- 事業者立入調査
- 町内主要河川水質調査
- 自動車排気ガスの抑制
- 剪定枝破碎処理委託事業

◎事業所の立入調査（生活環境課）

<事業概要>

「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」により指定された事業所等へ県と連携し立入調査を実施し、環境汚染（大気、水質、騒音、振動、悪臭等）の発生防止に努めます。

<実績>

年度	公害苦情件数	立入調査実施率
平成28年度	0	0%（0件/46件）
平成29年度	0	0%（0件/46件）
平成30年度	0	0%（0件/46件）

◎町内主要河川水質検査（生活環境課）

<事業概要>

公共用水域の水質を監視するため、町内の主要河川（9箇所）の水質検査を実施します。

<実績>

平成22年度より、検査回数を半期に一度、年2回の実施としました。すべての地点において規制値等を上回ることはなく、良好な結果でした。

また、環境の悪化を懸念させるような内容もありませんでした。

◎自動車排気ガスの抑制（生活環境課、総務安全課、企画財政課）

<事業概要>

自動車の排気ガスの抑制に向けたノーカーデーの実施やエコカーの普及促進及びエコドライブの推進を図るとともに、公共交通機関の利用促進を図ります。

<実績>

平成30年度は、低燃費・低排出ガス車1台を公用車として購入し、排気ガスの発生を抑制するとともに、電気自動車等エコカーの普及啓発を図りました。

個別目標 I - 2 環境汚染の防止(大気・水質・土壌・有害物質等)

環境施策

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 自動車排ガス対策の推進 | 4 騒音・振動対策の推進 |
| 2 大気汚染対策の推進 | 5 有害物質対策の推進 |
| 3 排水対策の強化 | |

重点施策 2 生活排水対策推進プロジェクト

現在、本町では生活排水による河川・水路等の水質汚染防止のため、下水道の整備、合併処理浄化槽維持管理費の補助など、積極的に生活排水対策に取り組んでいます。

下水道については、昭和50年に整備を開始し市街化区域は概ね終了、現在は市街化調整区域の家屋が密集した地域を中心に整備を行っています。今後も市街化調整区域内の効率的な整備と市街化区域の100%整備を推進します。

また、下水道供用開始区域内における平成28年度末現在の下水道接続率は95.6%に達していますが、未接続の世帯や事業所に対しては個別訪問等をさらに積極的に行い、接続率の向上を図ります。

下水道処理区域外については、合併処理浄化槽の設置及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切り替えや適正な維持管理の促進を図ります。

関連

- 下水道整備事業
- 合併処理浄化槽維持管理費補助事業

◎公共下水道整備事業（生活環境課）

<事業概要>

衛生的な生活環境、河川などの水質保全を図るため、下水道の整備を推進するとともに下水道接続率の向上を図ります。

<実績>

市街化区域内の公共下水道による水洗化率状況

年度	区域面積 (ha)	許可区域 面積 (計画面積) (ha) A	整備済面積 (ha) B	面積整備率 (%) B/A	市街化区域内 人口 (人)	整備済区域 内人口 (人) C	整備済区域内 接続人口 (人) D	接続率 (%) D/C
平成28年度	348.0	341.0	324.5	95.2	13,931	13,795	13,422	97.3
平成29年度	348.0	348.0	341.7	98.2	13,980	13,951	13,569	97.3
平成30年度	348.0	348.0	347.2	99.8	14,277	14,277	13,931	97.6

市街化調整区域内の公共下水道による水洗化率状況

年度	区域面積 (ha)	許可区域 面積 (計画面積) (ha) A	整備済面積 (ha) B	面積整備率 (%) B/A	市街化調整区 域内人口 (人)	整備済区域 内人口 (人) C	整備済区域内 接続人口 (人) D	接続率 (%) D/C
平成28年度	1,093.0	93.7	80.7	86.1	3,204	1,445	1,143	79.1
平成29年度	1,093.0	86.7	74.9	86.4	3,205	1,415	1,118	79.0
平成30年度	1,093.0	86.7	75.0	86.5	2,968	1,291	993	79.0

◎合併処理浄化槽維持管理費補助事業（生活環境課）

<事業概要>

合併処理浄化槽の普及及び適切な管理を促進するため合併処理浄化槽維持管理費補助事業を実施します。

<実績>

補助事業実績及び合併処理浄化槽設置状況（下水道供用区域外）

年度	補助金交付件数	補助金額（円）	設置基数	申請率（％）
平成28年度	137	3,969,610	210	65%
平成29年度	141	4,092,410	215	66%
平成30年度	133	3,859,124	213	62%

基本目標Ⅱ（自然環境）豊かな自然と共に生き、次の世代に引き継ごう

個別目標Ⅱ－1 自然環境の保全と再生（水辺・森林・農業）

環境施策

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 身近な水辺環境の保全 | 5 グリーンツーリズムの推進 |
| 2 緑やせせらぎと調和した都市基盤の整備 | 6 農産物の地産地消の促進 |
| 3 森林・里山の保全と再生 | 7 人と自然の豊かなふれあいの確保 |
| 4 環境保全型農業の推進 | |

重点施策3 森林・里山再生プロジェクト

森林は地下水の涵養、二酸化炭素の吸収等といった重要な環境保全機能を有しています。本町の森林等は管理が不十分なことから、このような森林が持つ公益的機能が近年損なわれつつあります。

本プロジェクトでは、本町の森林が県内の水源林として重要なエリアに位置づけられているため、神奈川県が進めている、かながわ森林再生50年構想との整合を踏まえ、水源林となる区域の森林保全・再生整備を推進し、公益的機能の回復・再生に努めます。

また、「おおいゆめの里」を中心とし、ボランティア団体等との協働により復元と保全を図ります。

さらに、近年、丘陵部の里山や農地を中心に、イノシシやシカ等の増殖に伴う農作物被害が深刻化しており、農業者の経営を脅かすとともに、生態系にも影響を与えつつあることから、有害鳥獣の捕獲や被害対策を充実します。

関連 施策

- 地域水源林整備事業
- 「おおいゆめの里」整備事業
- 里山保全活動支援事業
- 有害鳥獣被害防止事業

◎地域水源林整備事業（生活環境課）

<事業概要>

水源涵養、土砂の流失・崩壊防止、里山景観の形成、多様な動植物の生息の場として、森林の持つ公益的機能の再生を図るため、森林整備を進めます。

<実績>

	地域水源林整備面積 (ha)	整備箇所	地域水源林整備率 (%)
平成28年度	27.31	上山田民有林・上大井共有林	36.47%
平成29年度	31.51	上山田民有林	42.08%
平成30年度	31.51	—	42.08%

※平成30年度は水源林整備は行わず、翌年度以降の整備に向けた測量調査等を実施しました。

◎「おおいゆめの里」整備事業（地域振興課）

<事業概要>

自然環境を管理・保全し、荒廃しつつある山林を里山に復元しながら集客を見込める花木を適度に植栽し、都市住民との交流施設として整備を行います。

<実績>

おおいゆめの里の間伐を行うなど、山林整備をしました。

・ゆめの里育て隊（ボランティア） 作業回数 9回 延べ参加人数 121名

◎里山保全活動支援事業（地域振興課）

<事業概要>

ボランティア団体「ゆめの里育て隊」との協働により積極的に里山管理を推進します。

<実績>

おおいゆめの里の散策路の草刈りや清掃をはじめ、サルスベリやアジサイの剪定をしました。

◎有害鳥獣被害防止事業（地域振興課、生活環境課）

<事業概要>

有害鳥獣による農作物被害を防止するため、地域とともに被害防止活動を行うとともに防護柵設置補助や有害鳥獣捕獲助成事業を推進します。また、生態系との調和を図りつつ有害鳥獣の駆除を行います。

<実績>

大井町鳥獣被害防止計画に基づき、農作物被害を防止するため、有害鳥獣の駆除を行いました。

イノシシ 79頭 シカ 37頭 ハクビシン 11頭 タヌキ 17頭 アライグマ 3頭

個別目標Ⅱ-2 生態系の保全と再生(動植物)

環境施策

- 1 野生動植物の生息・生育環境の保全と再生、適正化
- 2 おおい自然園事業の展開

重点施策4 おおい自然園プロジェクト

大井町にはたくさんの自然があり、町民のこころを豊かに育ませてきました。その自然の素晴らしさを分かりやすく伝えていくため、町全体を自然博物館ととらえた「おおい自然園」事業を展開していきます。

おおい自然園事業は自然観察会の開催や生きもの調査、自然情報の広報等とおして、自然と人のかかわりを学び、地域の生態系について「親しむ」「知る」「守る」事業です。そして、町民自らが身近な自然を意識することで、生物多様性の保全が促され、町民が自然を大切にすることを養います。

関連 施策

- おおい自然園事業
- おおい自然園事業サポーター養成事業
- おおい自然園自然観察講座
- 大井町史（別編 自然）紹介

◎おおい自然園事業（生涯学習課、地域振興課、生活環境課、町民課）

<事業概要>

動植物の生態系を保全するため、町全体を自然博物館ととらえ、自然観察会の開催や生きもの調査、自然についての情報提供を行うとともに「おおい自然園展示会」等を開催します。

※平成29年度事業から、おおい課外塾事業における自然観察系事業を統合しました。

<実績>

自然観察会・炭焼き体験等を年17回実施するとともに、生きもの（カエルのみかま）調査と動植物情報（自然NOW）収集・発信を行いました。町広報連載記事を中心におおい自然園展示会を開催し、地域の自然環境について普及・啓発をはかることができました。

年度	事業名	参加者数	参加対象者	
平成28年度	せせらぎ親子自然観察ウォーキング・田んぼ体験	春	35人	小学生以上の親子
		秋	雨天中止	
	せせらぎ自然体験ウォーキング	農業体験・ウォーキング	45人	一般
	おおい自然園	おおいゆめの里自然観察会	春11人	小学3年生以上（火山灰観察会は小学4年生以上）
			初夏20人	
			夏15人	
			秋14人	
			冬16人	
		生きもの調査	29人	
		川の生きものしらべ	25人	
		夏の虫を調べよう	6人	
		酒匂川の石の観察会	19人	
		酒匂川の野鳥観察会	14人	
火山灰観察会	10人			
おおい自然園展示会	500人	一般		
平成29年度	せせらぎ親子自然観察ウォーキング・田んぼ体験	春	44人	小学生以上の親子
		秋	中止	
	せせらぎ自然体験ウォーキング	農業体験・ウォーキング	52人	一般
	おおい自然園	自然観察会	春19人	小学3年生以上（火山灰観察会は小学4年生以上）
			初夏20人	
			夏14人	
			秋10人	
			冬19人	
		生きもの調査	26人	
		川の生きものしらべ	35人	
		夏の虫を調べよう	14人	
		酒匂川の石の観察会	21人	
		酒匂川の野鳥観察会	16人	
火山灰観察会		10人		
おおい自然園展示会	234人	一般		
海の生きもの観察会	35人	小学4～6年生とその保護者		
月と星の観察会	33人			
里山炭焼き体験	16人			
平成30年度	せせらぎ親子自然観察ウォーキング・田んぼ体験	春	58人	小学生以上の親子
		秋	58人	
	せせらぎ自然体験ウォーキング	農業体験・ウォーキング	22人	一般
	おおい自然園	自然観察会	春26人	小学3年生以上（火山灰観察会・海の生きもの・里山炭焼き体験は小学4年生以上）
			初夏14人	
			夏14人	
			秋8人	
			冬7人	
		生きもの調査	14人	
		川の生きもの観察会	16人	
		夏の虫観察会	3人	
		酒匂川の岩石観察会	5人	
		酒匂川の野鳥観察会	8人	
火山灰観察会		6人		
海の生きもの観察会	30人			
月・惑星・星座観察会	18人			
冬の星座観察会	15人			
里山炭焼き体験	11人			
おおい自然園展示会	227人	一般		

◎おおい自然園サポーター養成事業（生涯学習課）

<事業概要>

町内に生息する動植物の調査・研究をはじめ、その成果の発信や環境教育・観光における活用につなげます。

<実績>

隔年実施のため、当年度の実施はありませんでした。

◎おおい自然園自然観察講座（生涯学習課）

<事業概要>

町の自然やその観察の仕方について学ぶ講座です。本講座はおおい自然園サポーターのフォローアップ研修会を兼ねて開催しています。

<実績>

「川の生きものの観察法」「大井町の地形・地質」を実施し、好評を得ました。

◎大井町史（別編 自然）の紹介（生涯学習課）

<事業概要>

大井町史（別編 自然）に内容を周知するとともに大井町史の販売を行います。

<実績>

大井町の自然を町広報誌で紹介しました。

年度	開催月	内容
平成28年度	4	アオダイショウ
	5	オオワラジカイガラムシ
	6	火山豆石
	7	ホオノキ
	8	マイマイカブリ
	9	七滝付近の厚い火砕流堆積物
	10	タマゴタケ
	11	珍虫カマキリモドキ
	12	丹沢山地の結晶質石灰岩（大理石）
	1	アナグマ
	2	キタキチョウ
	3	斑れい岩
平成29年度	4	ヤマルリソウ
	5	アオオビハエトリグモ
	6	大涌谷の硫黄の結晶（自然硫黄）
	7	カラス
	8	ハンミョウ
	9	枕状溶岩のふるさと～丹沢山地～
	10	ツルヨシ
	11	ヒメスズメバチ
	12	サンゴ化石のふるさと～丹沢山地～
	1	キジバト
	2	冬越しの虫さがし
	3	丹沢山地の本州への衝突の証拠～落合層～
平成30年度	4	ビロウドツリアブ
	5	アブラハヤ
	6	白石沢の石はなぜ白い？丹沢山地の花崗岩の仲間たち
	7	ありじごく
	8	クズ
	9	酒匂川に箱根火山の溶岩が
	10	アブラコウモリ
	11	ギリギリス
	12	菊川支流探訪1 大きな石は隆起の証
	1	ヤブコウジ
	2	アオオサムシ
	3	大井町にも火山があった？

基本目標Ⅲ（循環型社会）資源の循環を図り、環境負荷が少ないまちをめざそう

個別目標Ⅲ-1 ごみの減量化と再資源化の推進(廃棄物・資源)

環境施策

- 1 ごみの減量化と適切な処理の推進
- 2 再資源化の促進
- 3 不法投棄対策の推進

重点施策5 ごみの減量・資源化プロジェクト

近年、ごみ処理の問題は、全国的に将来に向けた大きな懸念材料となっており、ごみの減量化については自治体の大きな課題となっております。

現在、本町では、分別収集、資源回収の推進、段ボールコンポスト普及啓発、書道反古紙再生プロジェクト事業など、ごみの減量化と再資源化に努めていますが、さらに推進を図るため、廃棄物の発生抑制（Reduce:リデュース）、廃棄物の再使用（Reuse:リユース）、廃棄物の再生利用（Recycle:リサイクル）を推進するため、町民や事業者に対する意識の高揚、ごみの減量化の促進や各種リサイクル制度の周知、ごみの分別の徹底、新たな分別の検討などを積極的に行います。

また、本町内の各所では現在もごみの不法投棄が多くみられることから、不法投棄を許さない町として、県・警察・足柄上地域不法投棄監視員さらには町民や事業者等と連携し、不法投棄の徹底的な撲滅を図っていきます。

関連 施策

- 廃棄物分別収集事業
- 資源回収奨励金交付事業
- 剪定枝チップ利用促進
- 段ボールコンポスト普及啓発事業
- 書道反古紙再生プロジェクト事業
- ごみ処理広域化事業
- 環境パトロール

◎廃棄物分別収集事業（生活環境課）

<事業概要>

ごみの減量化と資源化の向上を図るため、分別収集の徹底を図るとともに各種リサイクル制度の周知、啓発を努めます。また、燃えるごみの組成分析調査を実施し、分別収集のあり方の検討を進めます。

<実績>

ごみの分別や排出日の徹底を図るため、「家庭ごみの正しい出し方」を作成し全戸配付をしました。燃えるごみの組成分析を実施しました。

年度	1人あたりのごみの量	ごみ資源化率 (%)
平成28年度	778 g /1人・日	24.59%
平成29年度	744 g /1人・日	23.92%
平成30年度	735 g /1人・日	24.34%

◎資源回収奨励金交付事業（生活環境課）

<事業概要>

ごみの減量化と資源の有効利用に対する意識を高めるため、地域住民で組織する各種団体が実施する資源回収活動に対し支援を行います。

<実績>

年度	実施団体	延べ実施回数	総回収量（kg）	奨励金交付額
平成28年度	14	28	41,803	56,000円
平成29年度	14	30	44,853	60,000円
平成30年度	15	30	32,775	60,000円

※奨励金交付額については、平成22年度より交付金の算定基準を「2,000円/回+回収量×3円」から「2,000円/回」のみとしたため、大幅な減額となりました。

◎剪定枝チップ利用促進（生活環境課）

<事業概要>

剪定枝破砕処理委託事業を通じて生成された剪定枝チップの使用促進を図り、ごみの減量化と家庭菜園等での幅広い活用を促進します。

<実績>

年度	収集回数	収集件数	収集量（t）
平成28年度	101	延べ894	160.1
平成29年度	99	延べ858	154.9
平成30年度	99	延べ1,010	156.4

◎段ボールコンポスト普及啓発事業（生活環境課）

<事業概要>

燃えるごみに多く含まれる生ごみの減量化と再資源化を図るため、安価で堆肥化が可能な段ボールコンポストの普及促進を図ります。

<実績>

家庭より排出される生ごみについて、段ボールコンポストに投入することでごみの減量と再資源化を図りました。
平成30年度は新規セットを14、基材のみ（継続）を1セット配布しました。

◎書道反古紙再生プロジェクト事業（生活環境課、教育総務課）

<事業概要>

町内小中学校の毛筆授業で発生する使用済みの半紙を事業者と契約し再生・再利用し、ごみの減量と再資源化、環境教育を推進します。

<実績>

各小学校の3年生から6年生及び中学校の書道授業で使用する半紙について、使用済半紙を業者が回収することで児童・生徒のリサイクル意識が高まりました。

平成30年度実績：大井小46枚、相和小9枚、上大井小38枚、湘光中21枚

※1枚＝500枚入

◎足柄上地区ごみ処理広域化事業（生活環境課）

<事業概要>

ごみの減量や資源化、ダイオキシン類の排出抑制を図るため、神奈川県が策定した「ごみ処理広域化計画」に基づき、足柄上地区1市5町によりごみ処理の広域化を推進します。

<実績>

平成19年度から21年度に掛けて担当課長会議によりごみ処理施設の共有化、分別収集のあり方などについての報告書を取りまとめ、平成22年度においては、人口やごみ量の将来予測など、協議に資する基礎資料の見直しを進めてきました。

平成23年度において検討を進めてきたごみ処理広域化の方向性について、平成24年度には更に実施組織の設立に向けて協議を進め、平成25年度から南足柄市役所にあしがら上地区資源循環型処理施設整備調整会議を設置しました。平成26年度に、建設候補地選定のため、「足柄上地区ごみ処理広域化基礎調査(報告書)」を作成、平成28年度に「足柄上地区ごみ処理広域化実施計画(暫定版)」及び「足柄上地区循環型社会形成推進地域計画(暫定版)」を作成しました。

平成28年10月以降、小田原市と南足柄市の2市協議の対応により、調整会議の活動を一時縮小しておりましたが、平成30年度から建設候補地の地域住民との合意形成に向けた取り組みを再開しました。

◎環境パトロール（生活環境課）

<事業概要>

町内全域を対象とし、環境パトロールを実施し、不法投棄の防止を図るとともに、不法投棄物や散乱ごみを撤去し、二次投棄等の防止を図ります。

また、県、警察と連携し、不法投棄の撲滅に向けた取組を進めます。

<実績>

年度	実施回数	回収した不法投棄廃棄物（t）	回収した美化清掃ごみ（t）
平成28年度	46	7.7	16.6
平成29年度	48	7.2	17.5
平成30年度	46	5.1	11.1

基本目標Ⅳ（低炭素社会）地球環境の保全をめざし、積極的な取組をすすめよう

個別目標Ⅳ－1 地球温暖化対策の推進（地球環境）

環境施策

- 1 省エネ、省資源に配慮したライフスタイルの促進
- 2 再生可能エネルギーの有効利用の促進
- 3 交通における地球温暖化対策

重点施策6 地球温暖化対策推進プロジェクト（低炭素化社会）

地球温暖化対策を推進するため、温室効果ガス発生量を抑制する日常生活や事業活動の促進、太陽光発電設備の普及など再生可能エネルギー利用の促進などを図るため、関連情報の充実や国・県と連携した温室効果ガス削減に関する施策を推進します。

また、町も自らの事業活動に伴い温室効果ガスを発生させている事業者であることから、削減目標達成に向けた取組の徹底を図ります。

関連 施策

- 省エネ・創エネ・蓄エネ推進事業
- メガソーラー設置運営事業
- 住宅用太陽光発電設備設置費補助事業
- エコカー普及促進事業

◎省エネ・創エネ・蓄エネ推進事業（総務安全課、生活環境課）

<事業概要>

町の事務事業から発生する温室効果ガスの排出量を抑えるとともに、積極的に省エネ・創エネ・蓄エネ推進に取り組めます。

<実績>

電気事業法の電力小売自由化に伴い、小売り電気事業者から電力を調達し、各施設の電気料金の削減を図りました。

◎メガソーラー設置運営事業（生活環境課）

<事業概要>

地球温暖化防止及び町有地の有効活用を図るため事業者と連携しメガソーラー設置運営事業を推進し、再生可能エネルギーの普及促進及び環境教育との連携を図り、環境に配慮したまちづくりにつなげます。

<実績>

下山田町有地に「きらめきの丘おおい」を設置し、メガソーラー設置運営事業に関わる事業者を選定し、順調に運営を行っております。

また、篠窪地内に、JAG国際エナジー(株)が「足柄大井ソーラーウェイ」を設置、運営を行っております。

◎メガソーラー設置運営事業の概要

- ・ 所 在 大井町山田字かたぶた1473番地 外89筆
- ・ 事業用地面積 68,631㎡（メガソーラー設置面積 約27,700㎡）
- ・ 設置運営事業者 (株)古川
- ・ 事業期間 20年
- ・ 発電開始 平成26年3月
- ・ 発電規模 2.12メガワット（ND-245（多結晶）245〔W/枚〕） 8,640枚

メガソーラー(2MW)は地球温暖化防止に貢献

- ・ 一般家庭約600世帯（大井町総世帯数の約9%）分の電力を発電
- ・ CO2削減量 約660 t/年 【原油換算 約480kl/年】 【森林面積換算 約180ha/年】

◎住宅用スマートエネルギー設備導入費補助事業（生活環境課）

<事業概要>

地球温暖化の防止及び環境保全意識の高揚を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する町民に対し、設置費用の一部を補助します。

<実績>

	交付件数	総交付件数
平成14年度	-	-
平成28年度	23	214件
平成29年度	14	228件
平成30年度	33	261件

◎エコカー普及促進事業（生活環境課）

<事業概要>

エコカーの普及促進を図るため、電気自動車の購入及び電気自動車用急速充電設備の設置者に対し補助を行います。また、そうわ会館に設置した電気自動車用急速充電器の利用促進を図ります。

<実績>電気自動車等購入補助申請件数

年度	4輪車	2輪車
平成28年度	2件	0件
平成29年度	0件	0件
平成30年度	1件	0件

<実績>電気自動車用急速充電器設置費補助申請件数

年度	急速充電器
平成28年度	0件
平成29年度	0件
平成30年度	0件

基本目標V（環境教育）環境パートナーシップの形成をめざそう

個別目標V-1 環境教育の推進(学校教育・情報提供)

環境施策

- 1 環境学習の促進と基盤づくり
- 2 環境情報の的確な提供

個別目標V-2 協働による環境保全の推進(協働)

環境施策

- 1 協働による環境保全・再生活動の促進

重点施策7 環境教育推進プロジェクト（環境教育）

環境の保全を着実に推進するためには、全ての町民や事業者、これからの大井町を担う小中学生の高い環境意識やモラルを醸成するとともに、各主体が自主的に考え、取り組むための仕組みづくりを推進する必要があります。

環境学習会や情報提供、環境イベントなどを通じて環境についての意識の高揚を図り、本町の環境や地球環境のための自主的な行動が展開される施策を実施していきます。また、主体的な活動を行う組織づくりを推進します。

関連 施策

- 環境展の開催
- おおい課外塾
- 環境出前講座
- エコ・タウンおおい推進協議会

◎環境展の開催（生活環境課）

<事業概要>

事業者や各種団体等の協力のもと、環境改善に関する技術や活動紹介等を行い、町民等への環境学習、情報提供、意識啓発を行います。（隔年開催）

<実績>

年度	来場者数
平成14年度	1,500人
平成15年度	2,500人
平成25年度	1,800人
平成27年度	800人
平成29年度	1,800人

※平成30年度は不開催

◎おおい課外塾（生涯学習課）

<事業概要>

おおい自然園事業と統合いたしました。

◎環境出前講座（生涯学習課、生活環境課）

<事業概要>

「低炭素」・「循環」・「自然共生」の各分野における出前講座を積極的に推進します。

<実績>

年度	実施回数
平成28年度	28回
平成29年度	14回
平成30年度	13回

◎エコ・タウンおおい推進協議会（生活環境課）

<事業概要>

低炭素化社会、資源循環型社会、自然共生社会の実現へ向けた環境施策の検討、協働による環境施策の推進体制づくりを進めます。

<実績>

協働による環境基本計画の推進体制づくりに向けた検討を進めるとともに、子どもエコスクールに学習補助としてご参加いただき、環境学習の啓発にご協力いただきました。